

新規事業採択時評価結果（平成23年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 環境安全課
担当課長名：安藤 淳

事業の概要

事業名	一般県道 大島浪板線 (浪板工区)	事業区分	地方道	事業主体	宮城県
起終点	自：宮城県気仙沼市大浦 至：宮城県気仙沼市東八幡前	延長	2.8 km		
事業概要	一般県道大島浪板線（浪板工区）は、三陸沿岸道路と一体となって機能するICアクセス道路であり、（仮称）大島IC及び（仮称）浪板ICと国道45号を直結する道路である。				
事業の目的、必要性	一般県道大島浪板線（浪板工区）は、三陸沿岸道路と一体となって、 ・地域間交流の促進 ・救急医療施設へのアクセス改善 ・大浦・浪板地区の復興まちづくりを支援し、震災復興の核となる道路である。				
全体事業費	約 40 億円	計画交通量	約 3,500 台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
 ・地元自治体で構成する「三陸沿岸都市会議」より三陸沿岸道路の早期整備要望を受けている。
 ・地元住民からは三陸沿岸道路のアクセス道路となる大島浪板線の早期事業着手を求められている。

学識経験者等の第三者委員会の意見
 -

事業採択の前提条件
 ・費用対便益：便益が費用を上回っている。
 ・地元自治体や地域住民などから強い要望があり、円滑な事業執行環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.9	総費用： 33億円 （事業費： 32億円 維持管理費： 1億円）	総便益： 64億円 （走行時間短縮便益： 56億円 走行経費減少便益： 7億円 交通事故減少便益： 1億円）	基準年 平成23年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 1.7 (交通量 -10%)	B/C= 2.1 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C= 1.7 (事業費変動 +10%)	B/C= 2.1 (事業費変動 -10%)		
	事業期間変動	B/C= 1.8 (事業期間変動+20%)	B/C= 2.0 (事業期間変動-20%)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-			
		事故対策	-			
		歩行空間	-			
	社会全体への影響	住民生活	○	・第二次救急医療施設（気仙沼市立病院）へのアクセス向上。		
		地域経済	○	・三陸沿岸道路と国道45号を接続し、両路線へのアクセス向上及び定時性確保。		
		災害	◎	・三陸沿岸道路と一体となって震災復興を支え、災害時には復旧作業や救援活動などに不可欠な道路。		
環境		-				
地域社会	○	・陸中海岸国立公園に属する唐桑半島、大島などの観光地へのアクセス向上。 (唐桑半島、大島などへの年間観光客入込数：約196万人)				
事業実施環境	○	・気仙沼市の復興まちづくり計画（案）に位置づけられている。 ・気仙沼市ならびに地元住民から強い要望。				

採択の理由

事業主体である宮城県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.9と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
 また、災害時の対応や地域経済への影響等、社会全体への効果は高いと判断される。
 以上より、本事業を平成23年度三次補正予算の新規事業箇所として採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。